



学校だより ながや

平成31年度 第2号
平成31年 4月 26日
横浜市立永谷小学校
校長 平野 好子

今年もあいさつを大切に

しあわせな子どもを育てます

校長 平野 好子

新年度が始まり、早いもので一か月が過ぎようとしています。桜が散り、ツツジが咲き始め、日に日に暖かくなってまいりました。平成31年度として、4月1日にスタートした平成31年度が、5月1日の「令和」の年号の施行とともに、令和元年度に切り替わります。

新しい年号「令和」の始まりは、新年度の始まりにも似た新鮮な気持ちにさせてくれます。そして、新たな気持ちで、頑張ろうと思わせてくれます。

新年度初めての朝会で、「しあわせ」の話をしました。子どもたち一人ひとりが幸せになってほしいという願いとともに大切にしてほしいことです。

- し・・・失敗したって大丈夫（失敗は成功のもと、次に向かってチャレンジしてほしいです。）
- あ・・・あいさつを大切に（相手に伝わるあいさつができるといいです。）
- わ・・・わたしってすごい（できることを増やし、自信をもって自分を好きになってほしいです。）
- せ・・・先生の話も友達の話もしっかり聞く（相手の話を聞くことは、相手を大切にすることです。）

今年度、子どもたちとともにしあわせについて、機会を設けて振り返ってみたいと考えています。

昨年度着任以来、「あいさつ」を子どもたちとともに大切にしようと呼びかけてきました。今年は、私自身、「あいさつ」をもとに、少しでも子どもたちと話をしたいと思っています。一人ひとりの子どもたちを知り、子どもたちの素敵なところを見つけて、「あなたってすごい」と声をかけていこうと思っています。

先日、朝、学校の前で、一人の中学生と会いました。私と目が合うと、小さくお辞儀をしてあいさつをしてくれました。あいさつされた私は瞬時にほわっと温かな気持ちになり、「おはようございます。」とあいさつを返しました。不思議なもので、この短いあいさつ一つで、朝から、すがすがしい気持ちになりました。そして、右の詩を思い出しました。

「おはよう」の言葉もそうですが、一秒ほどのあいさつの言葉に心を感じます。あいさつの言葉を交わすことが、心の通い合いにも通じます。

しあわせを大切に子どもを育ててまいります。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

『一秒の言葉』

小泉 吉宏

「はじめまして」

この一秒ほどの短い言葉に
一生のときめきを感じることもある

「ありがとう」

この一秒ほどの短い言葉に
人のやさしさを知ることがある

「がんばって」

この一秒ほどの短い言葉で
勇気がよみがえってくることがある

「おめでとう」

この一秒ほどの短い言葉で
幸せにあふれることがある

「ごめんなさい」

この一秒ほどの短い言葉に
人の弱さを見ることがある

「さようなら」

この一秒ほどの短い言葉が
一生の別れになるときがある

一秒に喜び 一秒に泣く
一生懸命 一秒